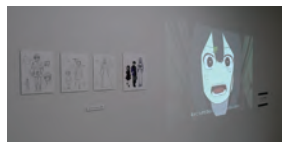
美専{Jyoho

2023年(令和5年)12月 長野美術専門学校の情報

2023 12

「美術学習論実習」授業で先生を務める学生


美専ギャラリーで美研展開催

学び多く 総合制作・総合研究を折り返す

「総合制作」「総合研究」は年間の学びの集大成。そして、そのための重要なステップがこの「中間経過報告会」だ。美専生はこれまでの取り組みを振り返り、確かめ、ハードルを跳び越えていく。

11月30日、12月1日の2日間に渡って、令和5年度「総合制作1・2」「総合研究」の中間経過報告会が本校メインキャンパスで開催された。

「総合制作」と「総合研究」は各年次における学びの集大成を作品制作によって体現する授業であり、最終ステージは、その成果を一般公開で問う次年2月末の「美専展」である。

こうした学びの道のりの折り返し地点となる「中間経過報告会」では、学生が自身の制作物を講師陣や他の学生に向けてプレゼン。制作の動機や意図、進捗状況やこれからの展望を報告した。

学生たちは緊張の面持ちだったが、先生方から降り注ぐ質問に素直に回答し、アドバイスに対して真摯に向き合おうとする姿勢には、より良いものをつくりたいという貪欲さが感じられた。

先生方の講評からは「このままワクワク感を持って制作に取り組んでもらいたい」など高い期待とともに幕を閉じた。年明けには学内展での合同講評会が待ち構えている。中間経過報告会を経て一回り成長した美専生たちに期待が高まる。そしてその先には「美専展」が。

「中間報告会」で制作中のファインアートラインの作品をじっくり見る先生方

各年次・各ラインの発表 次々と

報告の模様はホールからキャンパス内に配信

途中経過の発表は、2年制学科の「総合制作1」と「総合制作2」、そして3年制学科の「総合研究」がそれぞれ専攻したデザイン・映像・イラストレーション・WEBメディア・ファインアート・アニメキャラクター・マンガの各ラインごとに行なわれた。

メインホールを使い、企画資料を投影したり、実物をみせたりして、自分の想いをしっかり周りへ伝える。階段席に構える先生方、そしてその場の学生や施設内配信でキャンパス内の自由な場所で参加した学生に向け、果敢にプレゼンに挑んだ。

「映像という現象そのものに挑む」と表明した ビジュアルデザイン科3年制学科丸山大空さん

先生方を目の前にプレゼン

表彰記念品デザインコンペ表彰式開催

社会要望にクリエイティブで応える

来校されたメイクワン坂入治朗社長様から入賞の賞状と副賞をいただいた ビジュアルデザイン科3年制の学科の淀智洋さん、「トロフィーは成果が形で残るもの」とコメント

11月19日に株式会社メイクワンとの社学連携活動による「表彰記念品デザインコンペ2023」表彰式が行われた。株式会社メイクワンは東御市に工場をもつ東京銀座のクリスタル製表彰記念品メーカー。新しい世代が持つ自由でクリエティビティな発想、表彰記念品業界への新しい風を求め、美専へお声がけ頂いた。テーマは送った相手に喜んでもらい、いつまでも大切にしてもらえる表彰記念品。結果、入賞1名・アイデア賞2名の計3名が表彰式に臨んだ。

ビジュアルデザイン科2年制学科の宮尾海斗さんは「苦労して作ったデザインが初めて形になり、とても嬉しい」と、受賞の挨拶。

花火写真にTRY!

美専生が撮影した写真

花火の写真家 金武氏の特別講座

えびす講煙火大会で撮影スキルを習得

昨年に引き続き、花火写真家金武氏による特別講座が11月23日、長野えびす講煙火大会にて開催された。

日本各地の花火を独自の手法で撮り続け、ファンも多い金武氏。受講した学生たちは、晩秋の夜空を彩る大輪の花火を活写していた。

今回の講座は、カメラ（オリンパス OM-D E-M1X）は、OMデジタルソリューションズ株式会社様、三脚（Leofoto シリーズ）は、株式会社ワイドトレード様のスポンサーシップ。

ご協力いただいた企業の皆様に心より感謝申し上げたい。

金武写真事務所が美専の花火投稿をリポストIX

“find Another View”

学校法人 クリエイティブA
長野美術専門学校

メインキャンパス：
長野県長野市中御所1丁目10-10
サテライトキャンパス：
長野県長野市中御所岡田町166-1
森ビル新館1F
TEL.026-227-3229（代表）

美専{Jyoho
2023年(令和5年)10月 長野美術専門学校の情報

ドリー先生のまんが単行本、発刊

美専ギャラリーでJAGDA「山の日ポスター」展

2023 10

「大絵馬プロジェクト」完遂

郷土史に導かれた社学連携

「社会と共にクリエイティブを学ぶ」という連携ポリシーがこれほどわかりやすい活動はないのではないか、そう思わせる大絵馬プロジェクトが遂に完結した。

10月24日2年越しの社学連携、大絵馬が水内大社の社殿に奉納された。

この大絵馬は昨年の御柱祭の様子を後世に伝えるためのもので、御柱祭は長野市の4社が持ち回りで行なっている。これまでのものは、長野市の文化財も含め江戸時代からの8作がそれぞれの社殿等で確認されていた。したがって今回で合計9作が揃ったことになる。郷土の歴史に刻まれる文化伝承を担った美専生。を含むプロジェクトの総員が、祈願の奉納を果たす感動の瞬間が訪れた。

美専のこの活動始まりは水内大社が御柱祭を執り行った24年前に遡る。その時も、やはり美専生が大絵馬を描き奉納した。前回のそれは社殿の東側に飾られ、今回の西側への奉納と向かい合う形だ。その縁を受けて昨年の夏郷土史研究家の小林一郎、玲子先生夫妻が美専を訪問して制作依頼となった。その後、プロジェクトが発足し、祭りの取材、板材製作などを経て、美専生が描画に取り掛かった。プロジェクトは玲子先生がリーダーとして率いたが、目的に向かって郷土を奔走された姿からの学びは特筆されなければならない。

樹齢 120 年の杉の絵馬板がサテライトに設置され、ここから描画開始、更に遡ること昨年、郷土史研究家の小林一郎先生と玲子先生の美専訪問（右）

昨年の御柱祭で取材した写真は1万カットにも及ぶ、これにより事実にもとづく正確な絵馬が完成もちろん撮影も学生の活動によるもの

県立美術館でお披露目 話題沸騰

完成した大絵馬は、4日間長野県立美術館で公開。式典の後、8百人に迫る方々が訪れ、美専生の地域文化への取り組みとその成果に感嘆の目を向けました。

NHK報道含め多くのメディアの注目が

10/20 お披露目式は、ギャラリーツアーで制作の解説、小学校からの見学も多数

“find Another View”

学校法人 クリエイティブA
長野美術専門学校

メインキャンパス：
長野県長野市中御所1丁目10-10
サテライトキャンパス：
長野県長野市中御所岡田町166-1
森ビル新館1F
TEL.026-227-3229（代表）

美専{Jyoho

2023年(令和5年)8月 長野美術専門学校の情報

2023 08

「クリエイティブワーク総論」授業の1コマ

美専ギャラリーで卒業生「湯田坂奨・展」

美専生の出番 地域に続々

新年度が始まり、修学期が夏期授業期間へと移行する間、美専には地域からのクリエイティブワークへの要請が絶えない。こうした課題に学生たちは課外で取り組んでいる。社会の期待を受け止め、いきいきと応える若者の姿に、地域の明るい未来がきっとあるはずだ。

「ながも」求めて大行列

駅キャラ「ながも」生誕祭

キャラクターを生み出し 育てる

駅長さんと一緒にご挨拶

この春、JR長野駅のキャラクター「ながも」の誕生から1年が経ち、駅コンコース通路で生誕祭が行われた。当然のことながら、この駅キャラを生み出した美専生にイベント企画の要請が。

この日はいよいよ着ぐるみが登場、またオリジナルグッズの発売などがされた。美専生は「ながもと遊ぼう!鉄道すごろく」を企画。多くの来場者がフロアいっぱいに広げたすごろくマップと美専生のおもてなしを満喫した。

「ながもと遊ぼう!鉄道すごろく」を実施する美専生

信州ハンドクラフトフェスタと善光寺表参道夏まつりには「似顔絵屋」

7月には、恒例の「善光寺表参道夏祭り」と「信州ハンドクラフトフェスタ」が催され、やはり恒例の美研(美専美術研究部)の部員が『似顔絵屋』で参加した。今後の部活動に活かす投げ銭(寄付)も相当額集まったとのこと、好評ぶりがうかがえる結果と言える。

「信州ハンドクラフトフェスタ」の大賞コンテストは、美専の講師が毎年審査員

デッサン授業の大橋先生(写真右)と、ゲスト講師でおなじみの内堀先生(写真左)が今年も審査員

24hTVに今年も出番!

8月の24時間TVは「流木アート」に挑戦

アクアリウム(水槽ディスプレイ)プロデューサーのGA☆KYOさんとともに挑む「流木アート」。美専のキャンパスでのロケも順調に進み、期待が膨らむ。

本番に向け、流木アートを指揮するアーティストと番組アナが来校し、打ち合わせを重ねる美専生たち

"find Another View"

学校法人 クリエイティブA
長野美術専門学校

メインキャンパス:
長野県長野市中御所1丁目10-10
サテライトキャンパス:
長野県長野市中御所岡田町166-1
森ビル新館1F
TEL.026-227-3229(代表)

美専{Jyoho

2023年(令和5年)6月 長野美術専門学校の情報

2023 06

タイポグラフィー授業でのレタリング

連携協定書にサインする市長と校長

地域連携研究センター「ながのCreativeHUB」発足

5／13 社学連携の充実を目的とした地域連携研究センター「ながのクリエイティブHUB」の発足式典が挙行され 長野市と連携協定を締結

この式典に合わせて、長野市との連携協定が締結され、ビジュアルアート科の学生が長野市長や長野市議会議長、長野県デザイン振興協会などのご来賓の皆様と共に本年度のアート科の連携活動「水内大社大絵馬」の描き初めを行いました。

ながのCreativeHUB
地域連携研究センター

伝統のならわしに挑戦

歴代大絵馬が勢ぞろい この歴史に美専生作が加わる

御柱の記憶を辿る

美専ギャラリー 大絵馬資料展

長野市にある神社4社では、7年ごとに行っている御柱祭の様子を後世に伝えるため百七十年前ごろから巨大な絵馬を描いて奉納するならわしが続いていますが、24年前の水内大社の大絵馬制作は美専の学生が行いました。そんなご縁から、今回ビジュアルアート科での取り組みがはじまり、この「大絵馬資料展」の開催となりました。

サテライトの美専ギャラリーにて、6／30まで。

地域の卒業生 全国誌で活躍

あの「ガロ」後継誌の **林静一賞受賞**

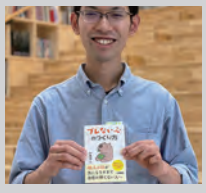
マンガライン講師も勤める卒業生荒井瑞貴さんが「アックス」で受賞、しかもあの「赤色エレジー」の林静一さんの個人賞。

新人漫画家の登竜門漫画誌

表紙イラスト

六川智博さん、今度は全国の本屋デビュー。それはPHP文庫の「ぶれない心のつくりかた（加藤諦三）」の表紙にカピバラ。

PHP文庫 加藤諦三著作本


文庫本の表紙イラスト

“find Another View”

学校法人 クリエイティブA
長野美術専門学校

メインキャンパス：
長野県長野市中御所1丁目10-10
サテライトキャンパス：
長野県長野市中御所岡田町166-1
森ビル新館1F
TEL.026-227-3229（代表）